
DESIGN PEAKS

love and communication

この地を愛し尊び、ここから幸せを創造する。

Branding and Promotion



ADW

2015年から開催の「ASAHIKAWA DESIGN WEEK（旭川デザインウィーク／略称ADW）」。毎年テーマを設け、家具づくりに留まらず建築や木工などの各産業が形成する「ものづくりのまち旭川」という文化を広くアピールしていくイベントとして全国から世界へ発信する。そのデザイン全般を担当。



















www.asahikawa-kagu.or.jp/adw













Asahikawa
Desig Week







IFDA

1990年から3年ごとに開催している「国際家具デザインフェア旭川（IFDA）」のクリエイティブディレクションをはじめ、ポスターや募集要項、ガイドブック、入賞・入選作品を集めた図録の制作や入選作品展示会場のディスプレイなどまで、さまざまな制作に関わる部門を担当。北海道デザイン協議会が主催する北海道デザインアワード2016グランプリを受賞。











www.ifda.jp

















IFDA 2024 Exhibition







CondeHouse

CondeHouse Rebranding

2021年5月1日、カンディハウスはブランドの顔となるシンボルマーク、ロゴタイプを一対とするロゴマークを新たに制定。その中でカンディハウスが中期経営計画を遂行し成果につなげていくために、新カンディハウススタイル確立に向けてのリ・ブランディング業務に参画。「社長と専務の隣にアートディレクター(AD)」としての役割を遂行。メインADとして、カンディハウス内の会議参加や社外コンサルタント等との調整業務などを担う。









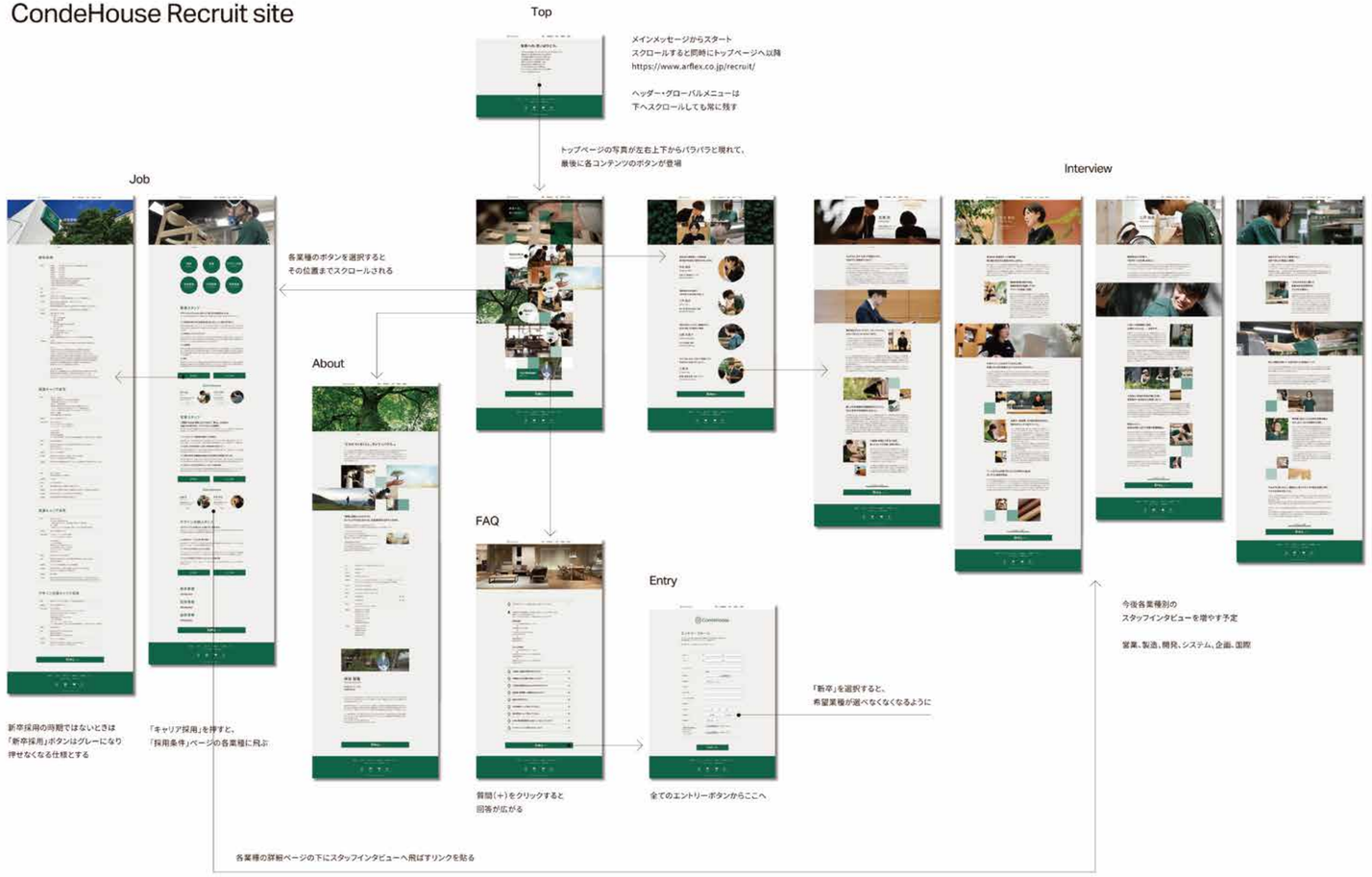






CondeHouse > CondeHouse > CH > CH > Ω >

CondeHouse Recruit site








CondeHous
CondeHouse


CondeHouse
CondeHouse

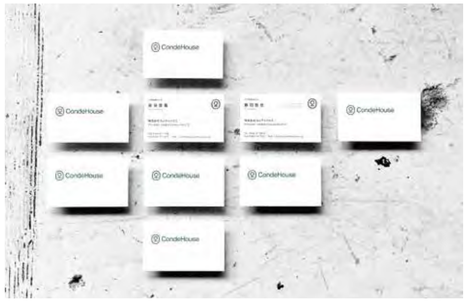

CondeHouse


CondeHouse


CondeHouse
CondeHouse
CondeHouse


CondeHouse
CondeHouse
CondeHouse
CondeHouse


CondeHouse
CondeHouse


CondeHouse
CondeHouse
CondeHouse
CondeHouse
CondeHouse
CondeHouse
CondeHouse

ORGATEC TOKYO

SHIFT DESIGN

2023









ORGATEC TOKYO

SHIFT DESIGN

2024

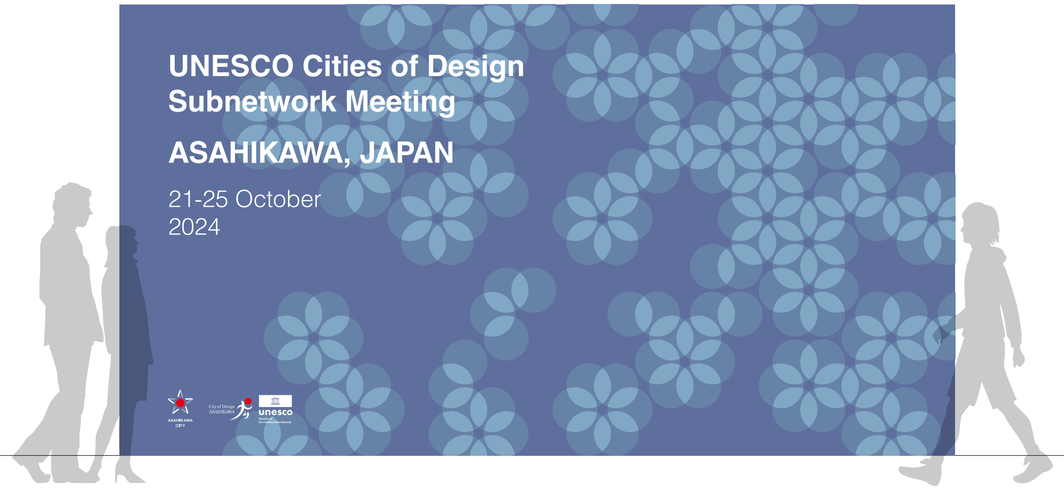


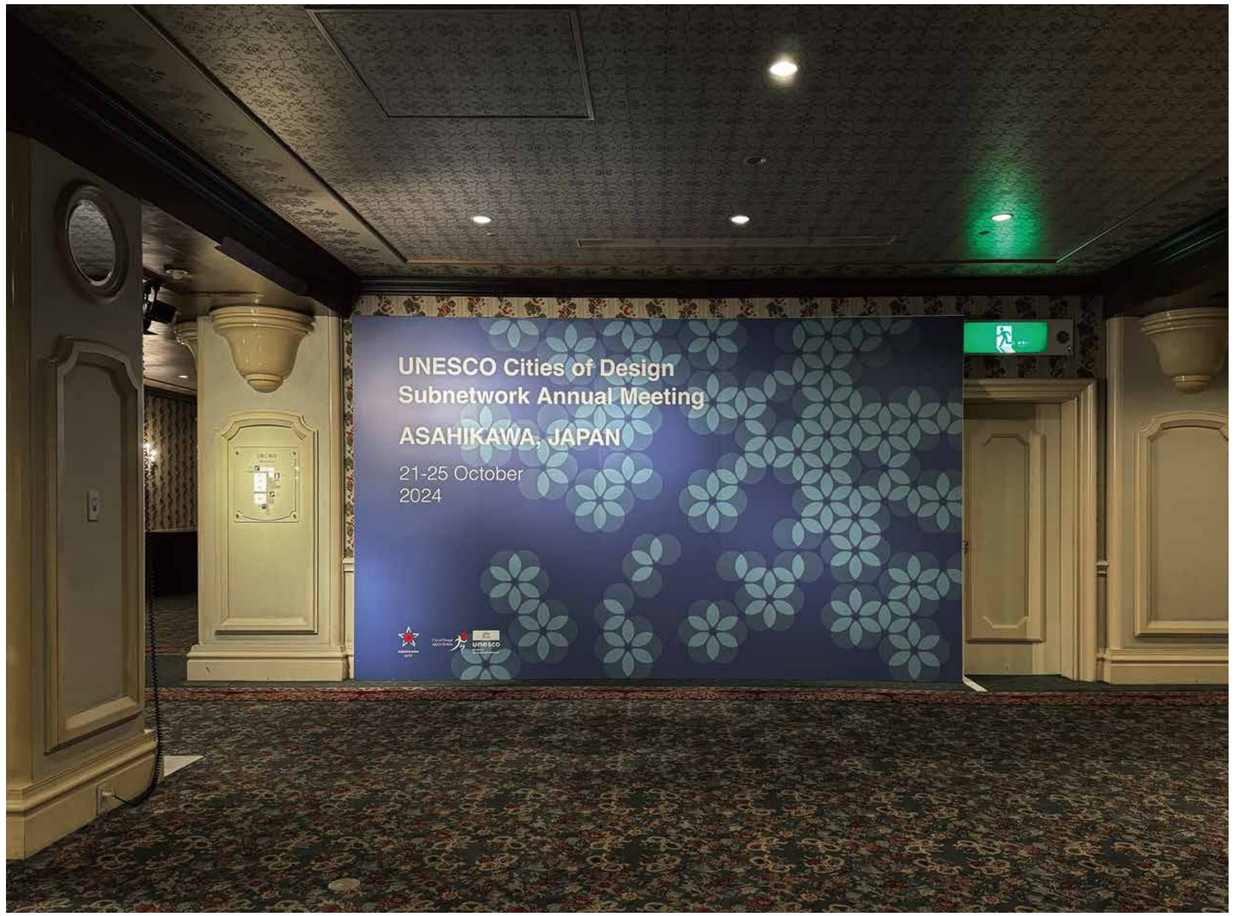
UCCN

UNESCO Cities of Design
Subnetwork Annual Meeting ASAHIKAWA, JAPAN

2024UCCNデザイン都市旭川会議

21か国23のデザイン都市から48名の参加者が旭川を訪れ、ユネスコデザイン都市会議が開催。各国デザイン都市の参加者と直接集うことでしか得られない生きた情報交換や緊密な連携の構築を図る。未来を担う若い世代との交流を図るとともに多くの市民にデザイン都市旭川を知ってもらうことで、シビックプライドを醸成する。植樹やワークショップなどを通じて旭川の豊かな自然や産業、文化に五感で触れてもらう。をテーマに、創造的な未来の都市づくりとデザインの役割について活発な議論を交わえう会議のメインビジュアルをはじめ、さまざまな制作に関わるグラフィックを担当。





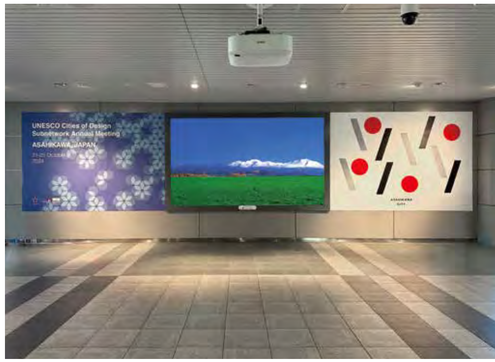


















Subnetwork Annual Meeting

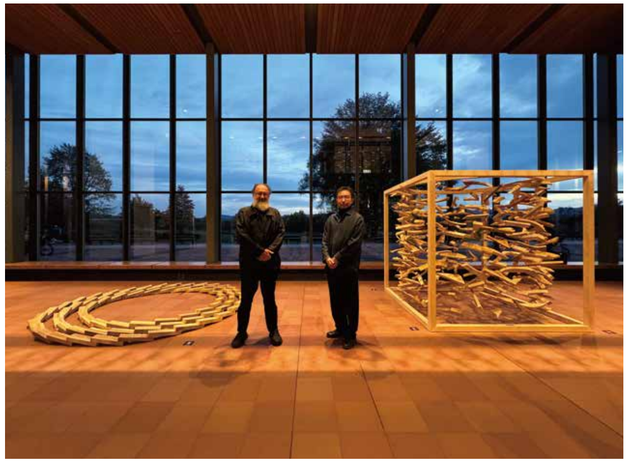
Sou Fujimoto

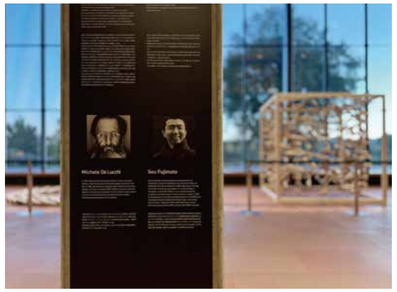
×

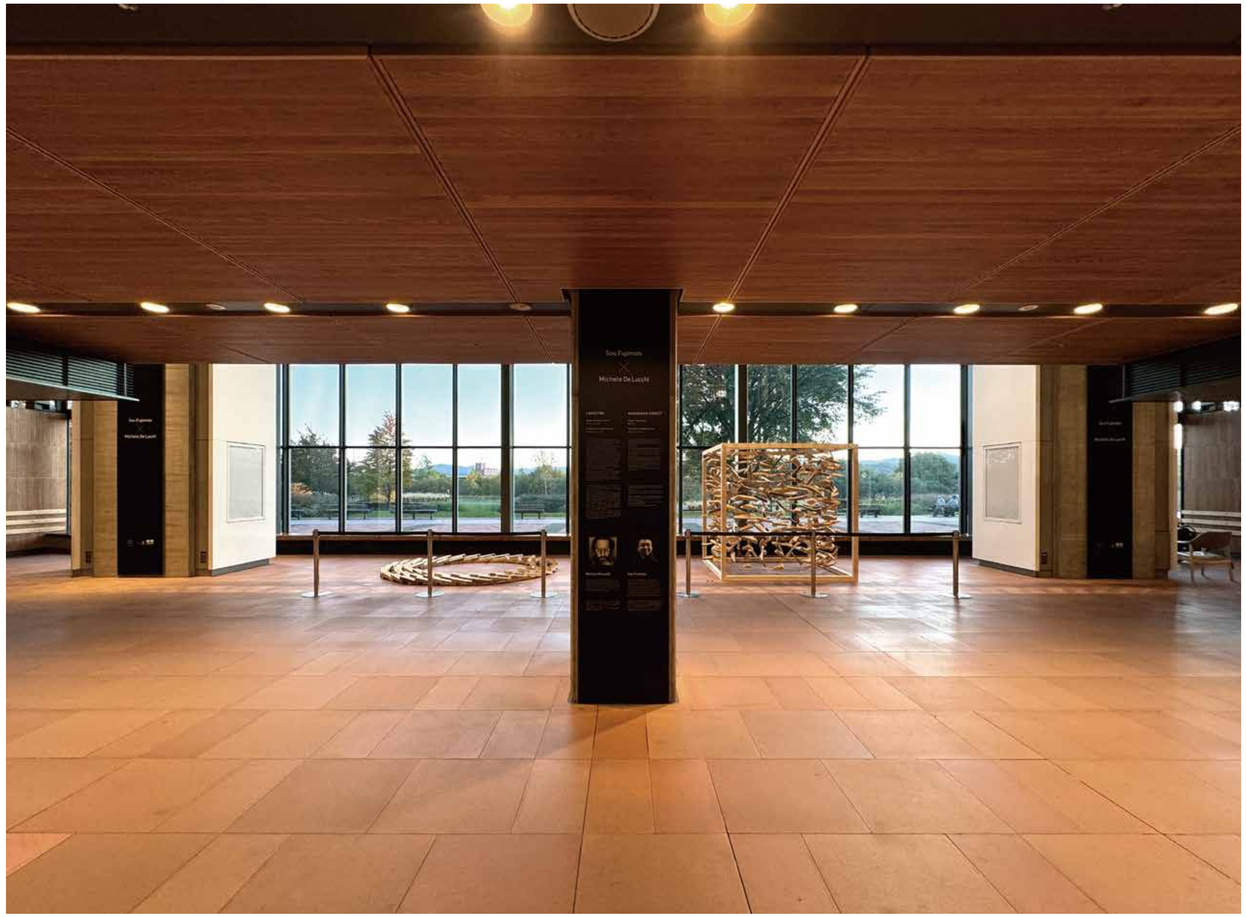
Michele De Lucchi

UCCN Installation









Promotion

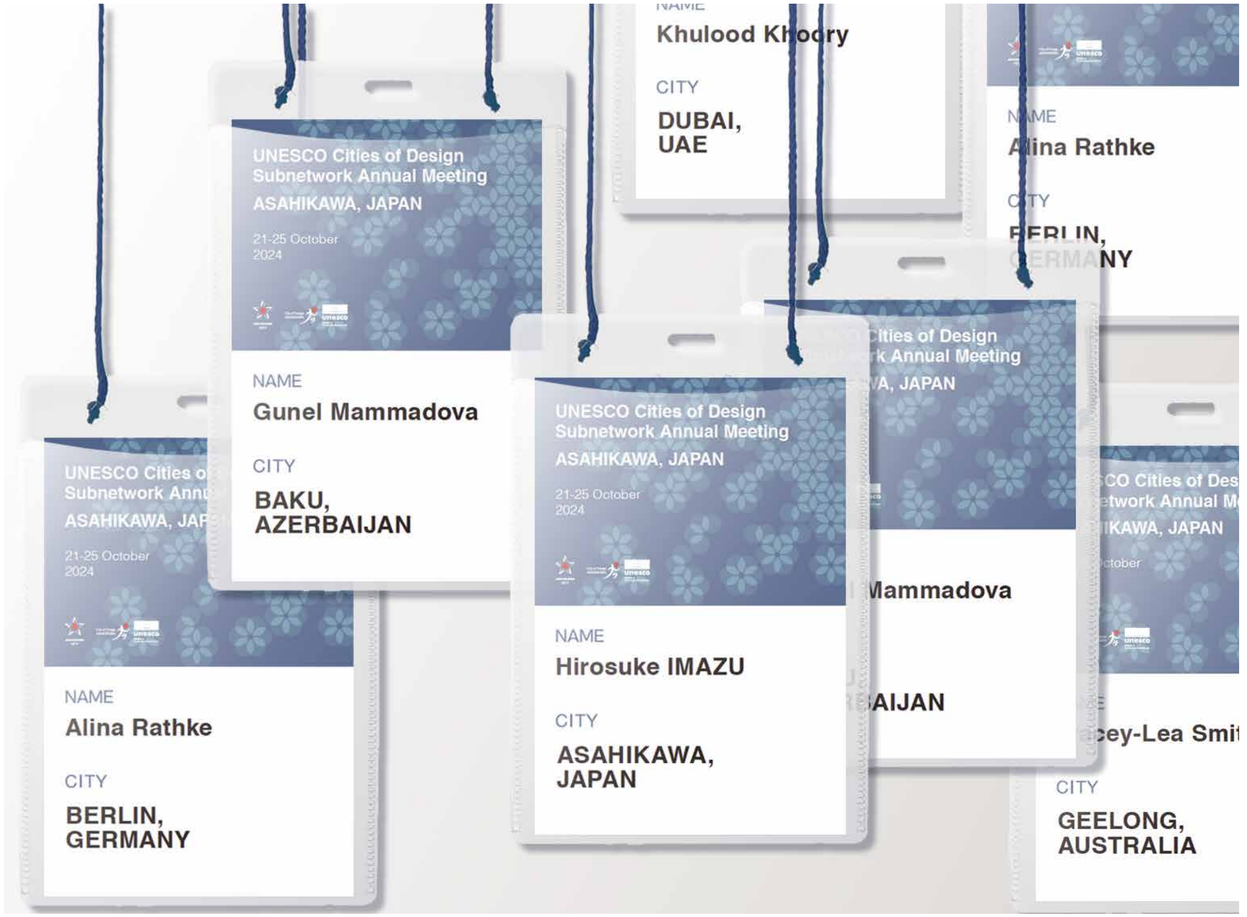


Newspaper





Leaflet



Name holder

Japan EXPO 2025 Osaka Healthcare Pavilion

Smart Healthcare Town and Carbon Neutral Tresure Hunt

Reborn Challenge

リボーンチャレンジ

「リボーンチャレンジ」とは、2025年大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンで、優れた大阪の中小企業・スタートアップの技術力や魅力を展示した取り組みです。
大阪イノベーションハブからは、『明日が楽しくなるまち「スマートヘルスケアタウン」プロジェクト』と『便利な未来を支える技術たちカーボンニュートラルトレジャーハント』の2つのテーマで計28のプロジェクト展示のデザインの担当をしました。

Enjoy happy & healthy living
Smart Healthcare Town





Technology for a greener tomorrow
Carbon Neutral
Treasure Hunt



Japan EXPO 2025 Osaka Healthcare Pavilion

Smart Healthcare Town

story　明日が楽しくなる町「スマートヘルスケアタウン」プロジェクト

テーマ:REBORN・ヘルスケア

大阪ヘルスケアパビリオンのメインテーマであるヘルスケア分野において、スタートアップ企業が開発するイノベーティブな製品・サービスの展示を行い来場者に体験してもらうことで、人々の「いのち」と「健康」を守り、誰もが楽しく安心して生活できる未来の暮らしを提案。
「スマートヘルスケアタウン」プロジェクトのブースは、未来の健康的な生活をリアルに感じてもらうため、町全体の一日を巡るような体験型ブースを再現。インスピレーションとアクションの場として、ブース背面には、ディスプレイウォールを設け動画を投影。木や自然を連想させるデザインで、視覚的な心地よさと未来のヘルスケアへの安心感を提供します。







panel sign　graphic sign　image movie　image movie　graphic sign　motion graphic sign



Japan EXPO 2025 Osaka Healthcare Pavilion

Carbon Neutral Tresure Hunt



panel sign　graphic sign　image movie　image movie　graphic sign　motion graphic sign



story　カーボンニュートラル トレジャーハント ～便利な未来を支える技術たち～

テーマ：REBORN・環境

環境への配慮がなされ、カーボンニュートラルの実現に貢献するスタートアップ企業が提供する製品の展示・来場者へ体験を通じ、地球温暖化など環境に関する問題への意識への気づきや、自身ができる行動変容の促しにつながる展示を担当。
ブースの造作は、自然と技術の調和を象徴し、未来への希望を具体的に感じられるデザインとし、インスピレーションとアクションの場として、ブース背面には、ディスプレイウォールを設け動画を投影。木や自然を連想させるデザインで、視覚的な心地よさと未来への希望（テクノロジー）を伝えました。

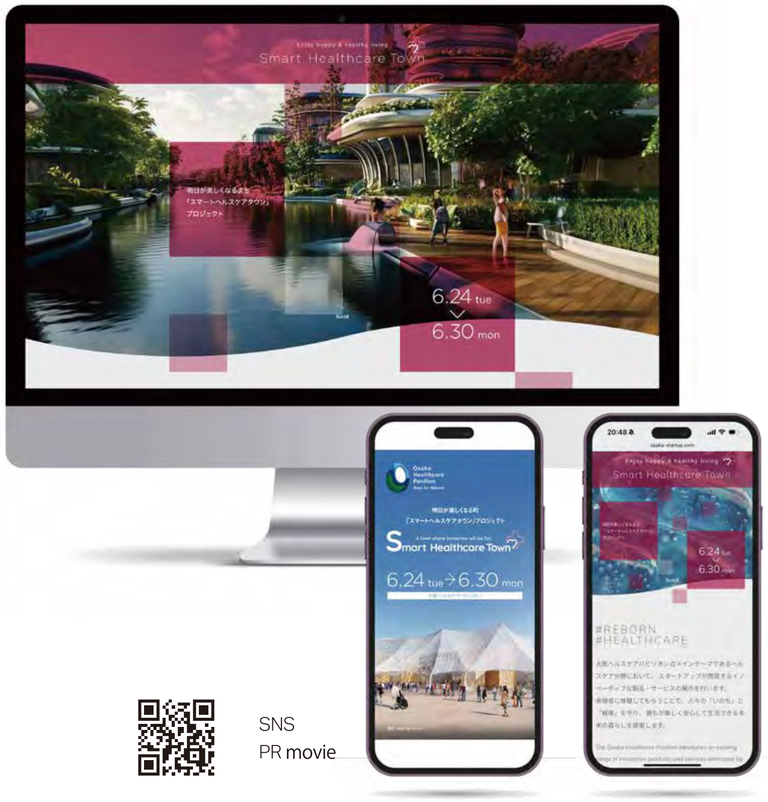




web

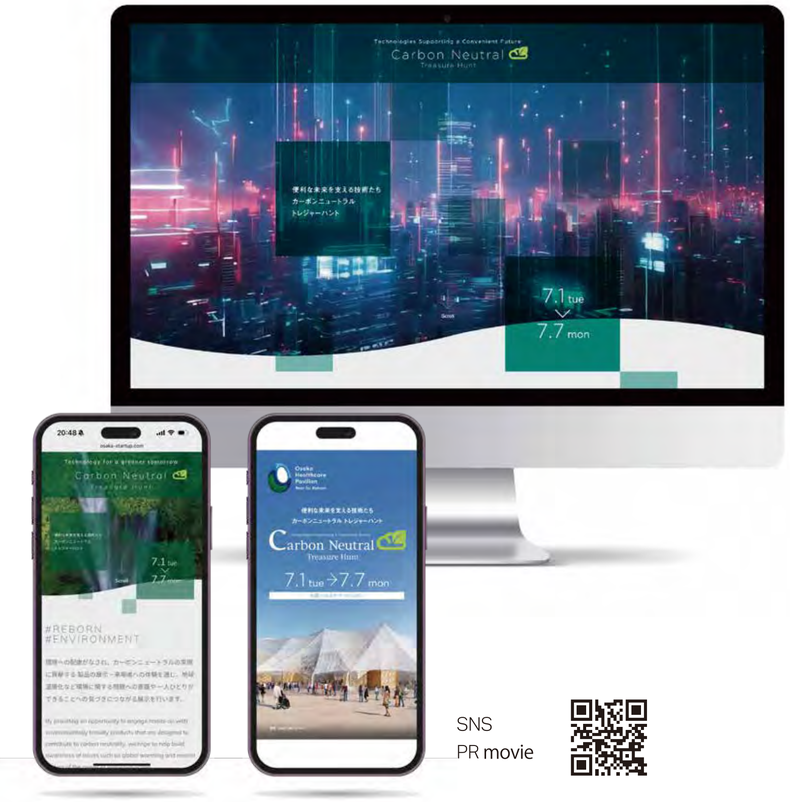


web Landing Page



SNS
PR movie

web Landing Page



SNS
PR movie



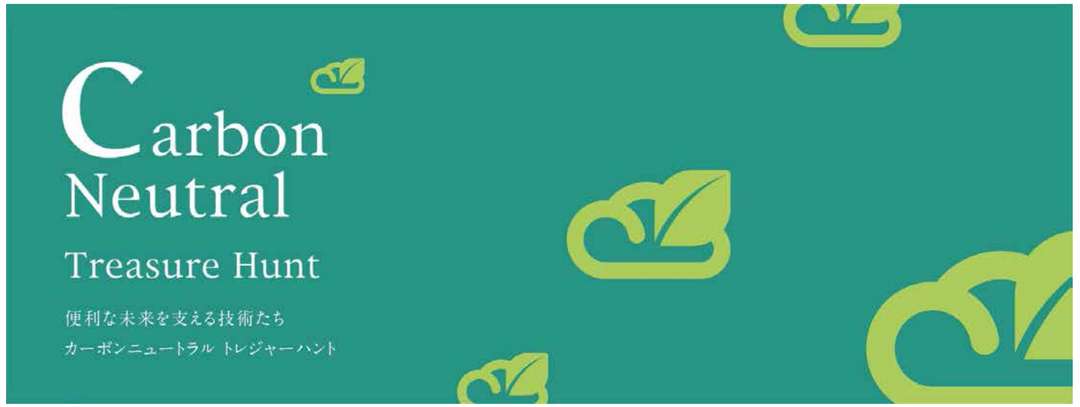
Promotional Video



Motion Graphics



Promotional Video



Motion Graphics



Smart Healthcare Town and Carbon Neutral Tresure Hunt

Tech Osaka summit





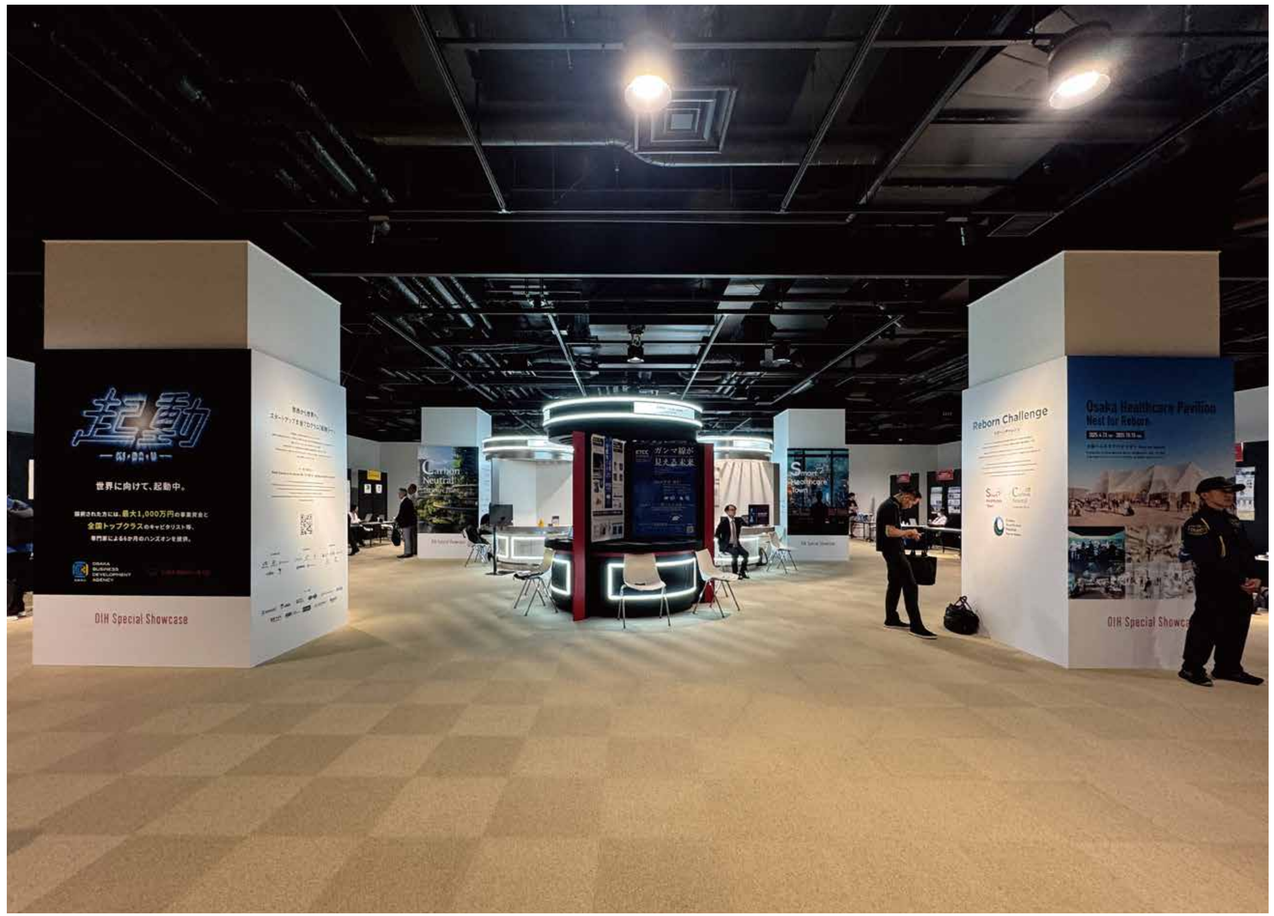








GRAND FRONT OSAKA



Okhotsk Eye Clinic

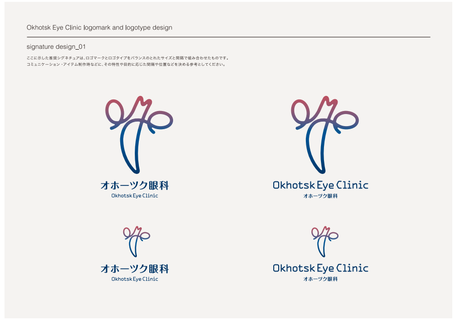
大学病院・地域拠点病院での豊富な経験と実績をベースに、その技術に磨きをかけて、オホーツクの地へ身近で高度眼科医療を提供するべく北見市に開院したオホーツク眼科。その考え方をベースにオホーツク眼科にふさわしく「eye」の文字でオホーツク海のシンボル「クリオネ」を表現。シンプルでありながら親しみのあるマークで、オホーツク地域の人たちに「安心」を届けるデザインでブランディングを担当。

https://okhotsk-eye-clinic.com

オホーツク眼科
Okhotsk Eye Clinic

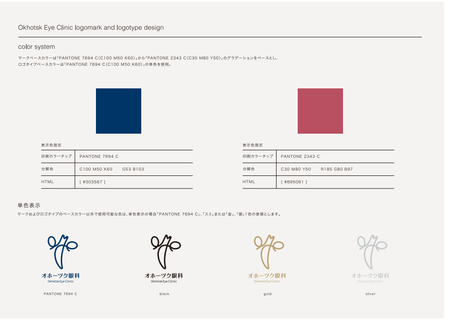
Logo design manual











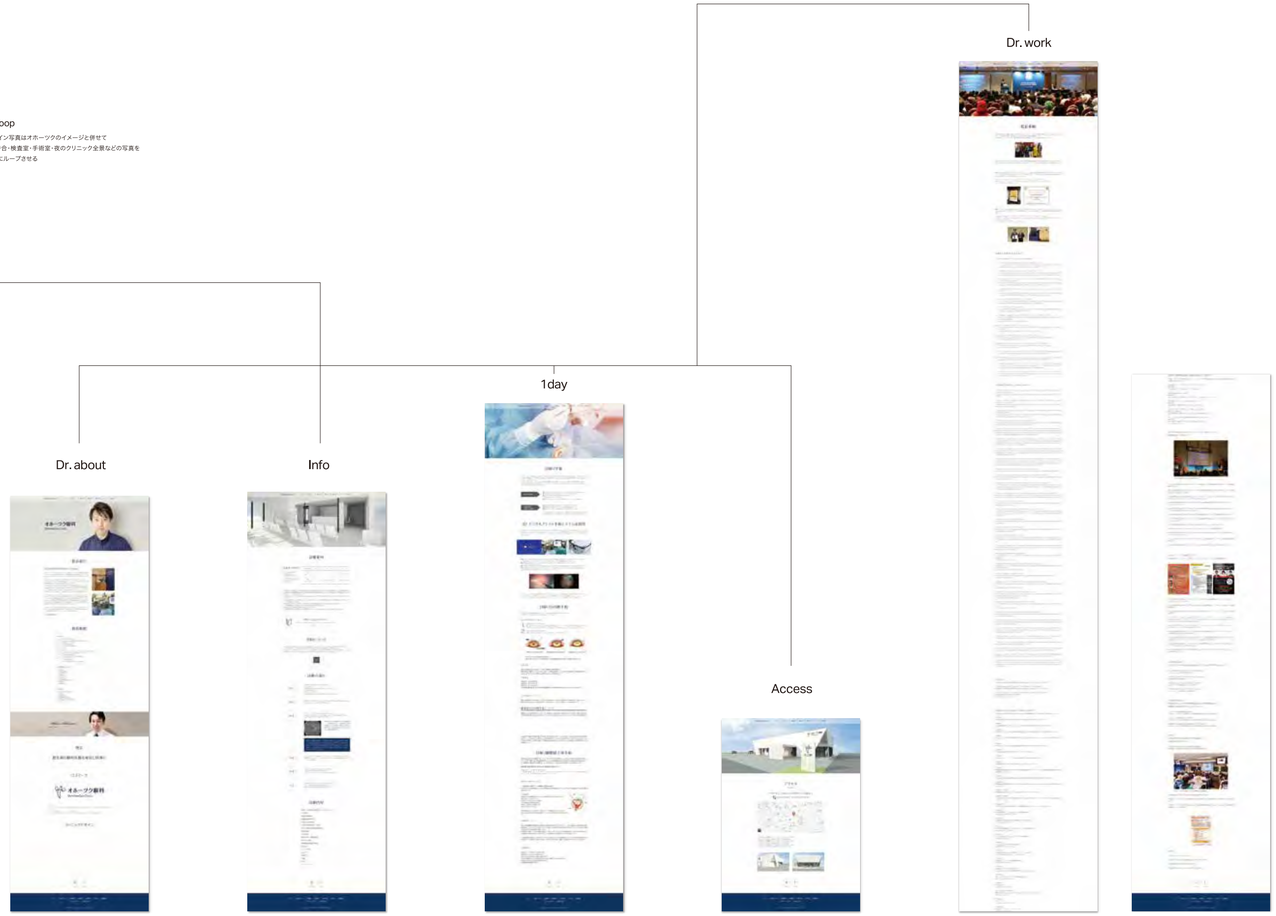
web design

https://okhotsk-eye-clinic.com/









sign design

outside









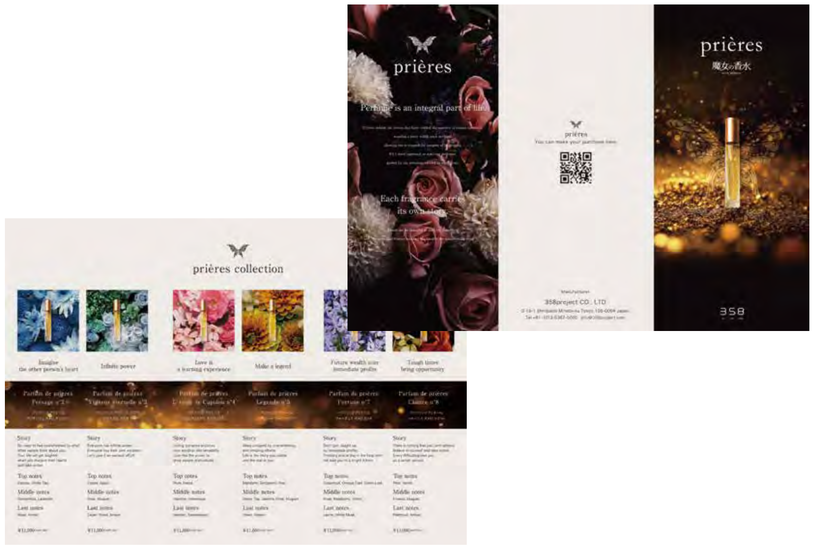


witch perfume

映画「魔女の香水」から生まれた香りをテーマに物語を感じる香水のパッケージからプロモーションツールを担当。香水ひとつひとつに香りのイメージをふくらませる壮大なストーリーつむいだシリーズの香水。働く女性の気持ちに寄り添った「魔女の香水／prières」は人生のきっかけ、チャンス、困難をエッセンスを持って表現するフレグランスコレクションです。

魔女の香水
witch perfume

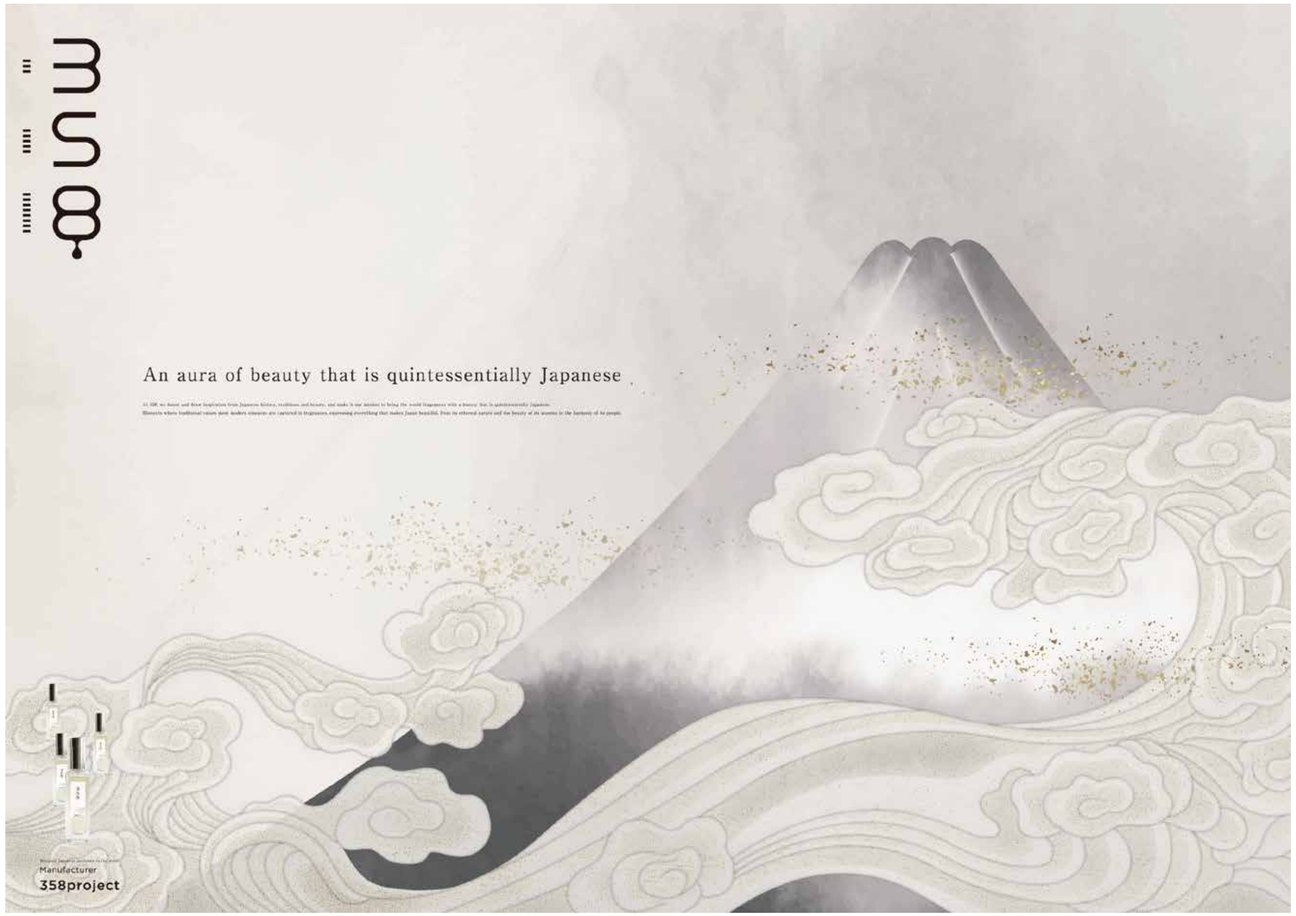
prières











A0 poster

358

映画「魔女の香水」をプロデュースした株式会社358プロジェクト。「なりたい自分」の選択肢をcrossoverで創り続けるというミッションをベースに、様々なコンセプトの「香り」を開発。そのフレグランスの世界観からパッケージまでトータルにデザインを担当。

A3 pop



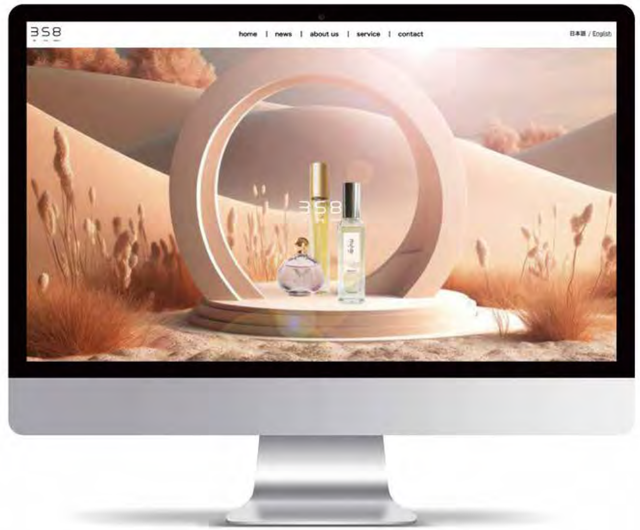




A4 leaflet

50ml bottle





PC web

https://358project.com

Oda Collection

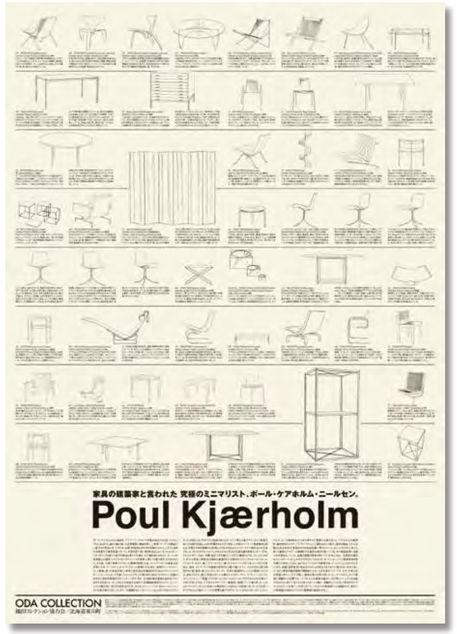
椅子研究家・織田憲嗣氏が50年をかけ収集した、北欧を中心とする20世紀の美しい家具と日用品群「織田コレクション」の
ロゴデザインをはじめ、ポスターや展示会ツールの他、グッズまでデザインを担当。

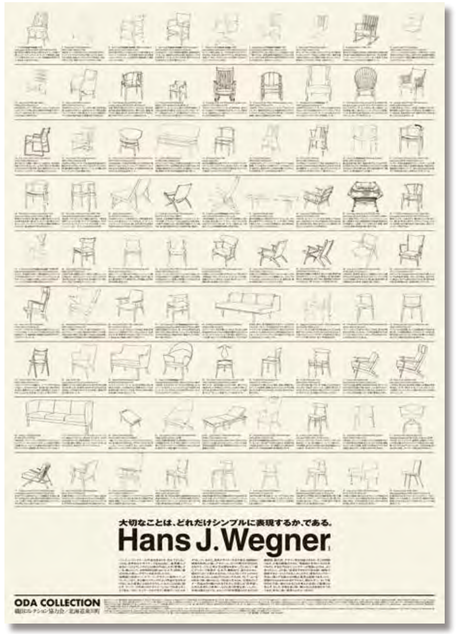
ODA COLLECTION

Logotype Basic Design

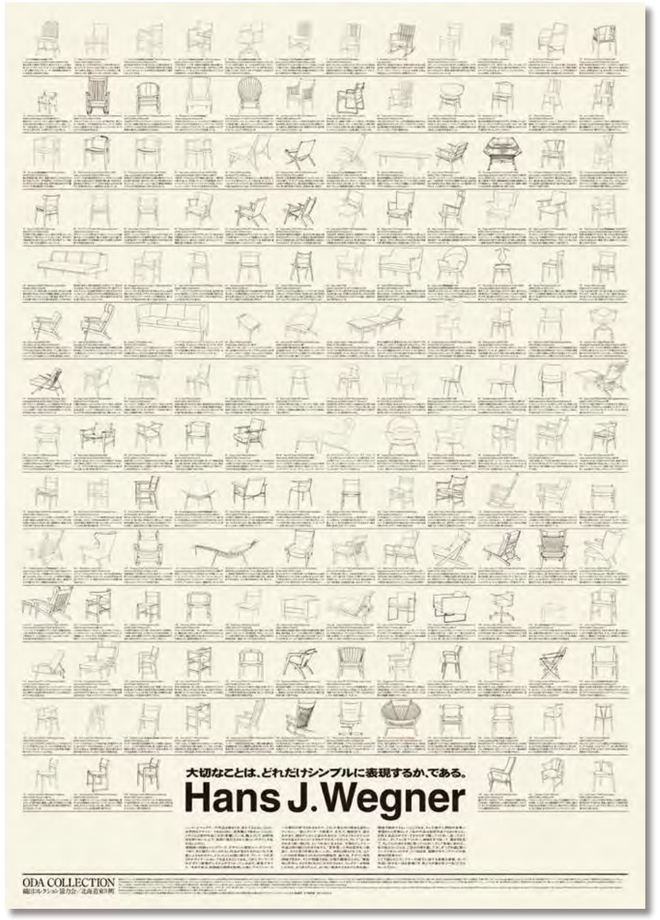


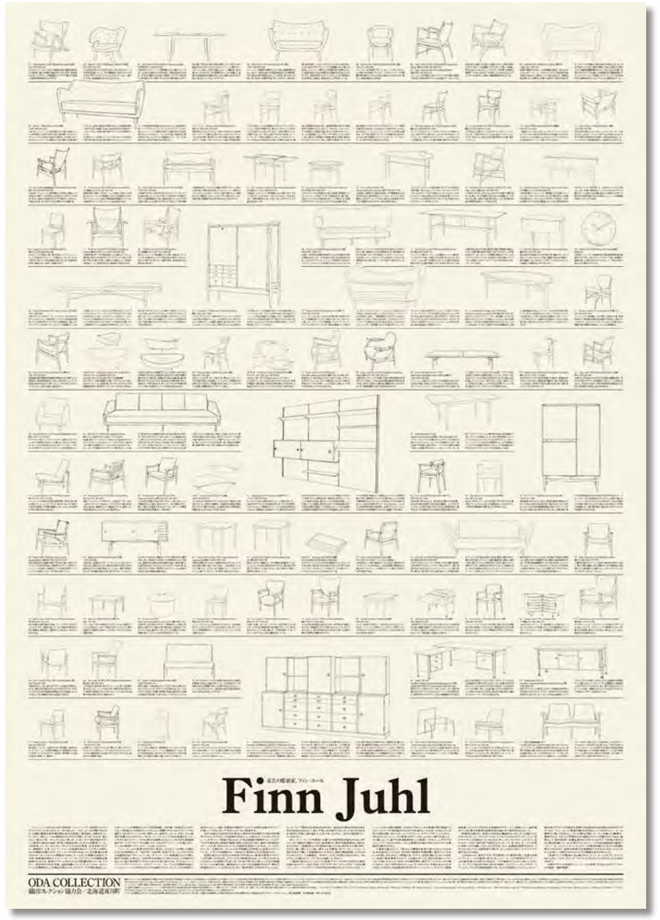
image visual





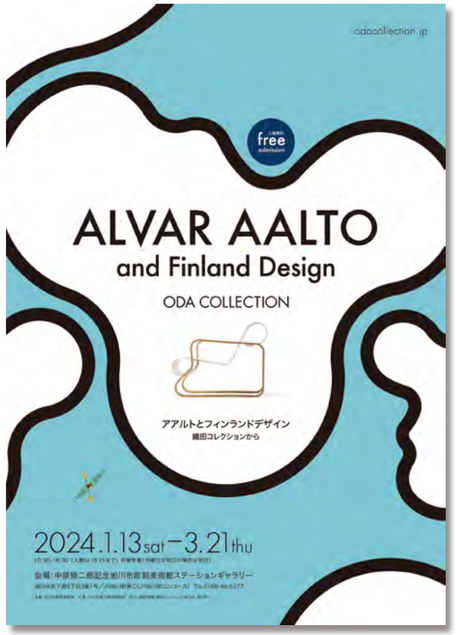
B2 poster

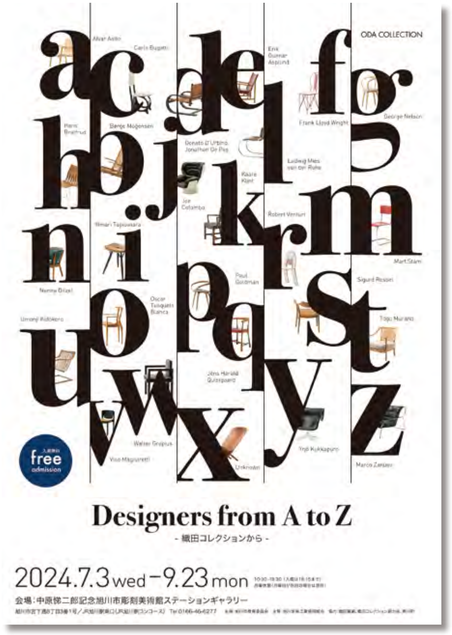


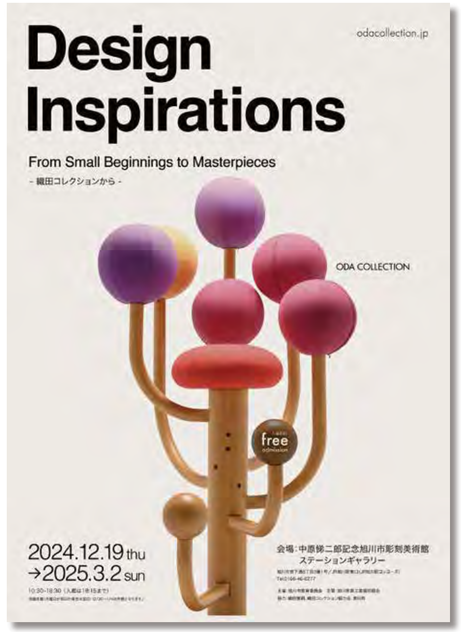


B1 poster











A1 Exhibition poster

Promotion Tool / Masking Tape





旭川市立大学

ASAHIKAWA CITY UNIVERSITY

symbol logo mark

ASAHIKAWA CITY UNIVERSITY

2023年4月1日付けで公立大学に移行した旭川市立大学。設置者変更に伴い「旭川大学」の名称が「旭川市立大学」に変更された際に、旭川大学当時の建学の理念を踏まえてさらに発展させて、「豊かな人間性と国際的な視野を有し自律した人材を育成する大学」「創造と実践で時代を切り拓く大学」「知の拠点として地域社会に貢献する大学」の建学理念をベースとした新たなVIを担当。









guideline



school emblem



name card

ALBURO

原点である鋳物を通して地域に根ざしながら新たな世界へ根を伸ばす株式会社 アルブロの酒器のオリジナルブランド「神座」をプロデュース。コンセプトからネーミングをはじめ、商品開発のお手伝い、パッケージ、広告、webまでトータルでブランディングを担当。



神座

KAMIKURA







valore cyan

定番の洋菓子を、美瑛の季節野菜を用いて表現するというコンセプトのベジタブルスイーツを提供する「Valore Cyan(バローレ シアン)」。旭川空港新国際ターミナルにオープンするにあたって、マークをはじめ、店舗サインデザイン、印刷物、ツール、パッケージまでトータルなブランディングをお手伝い。



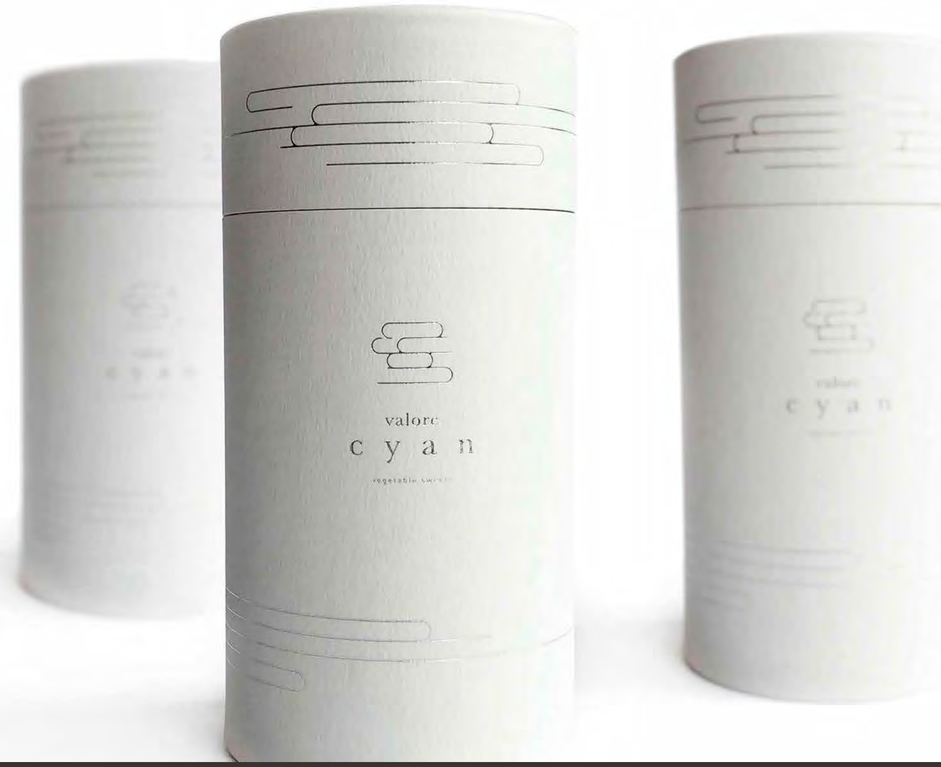








valore
c y a n
vegetable sweets



MORE MARCHE
ASAHIKAWA

TABEMARCHE 10th ANNIV.

More Marché

秋のイベントとして定着した「北の恵み食べマルシェ」。その10回目の記念イベントとして試験的に実施した「モアマルシェ」。
北北海道の食の魅力（安全性・ブランド力）を伝えると共に、「デザイン」の視点を通して食に関する「旭川スタイル」を提案・発信。
全体の企画を含め、料理人×デザイナーのコーディネート、さらに「デザイン+SDGs」の視点から食のアップデートを目指した。

suffolk curry
MitasCoBarla
whole lotta curry love, just taste better with curry.

















SHIMOKAWA 60

北海道の道北圏に位置する下川町にあるあべ養鶏場。夏は30℃、冬はマイナス30℃になり寒暖差が60℃と厳しい土地から、オリジナルの卵ブランド「下川60（ろくまる）」を開発。日本でも特に厳しい大自然の中、“日本一おいしい卵”をつくれるように、研究を重ねながら、新たな商品開発やブランディングを担当。

創業昭和三十九年 北海道下川町
株式会社 あべ養鶏場









HUG & RELAX

人とのつながり、心のふれあいを大切にし、ともの「幸せ」であることを目指しながら、アロマテラピーの魅力を伝え、人々に多くの「喜び」を提供する「グラーズ」。
北海道の大自然の魅力にあらためて気づき“森のアロマ”として、たくさんの人にお届けしたいという思いから、試験を繰り返してたどり着いたのが、北海道の「アカエゾマツ」の香り「はぐりら」。そのブランディングをトータルで担当。









はぐりら

Hug & Relax



MOUNTAIN CITY RESORT
HOKKAIDO TAISETSU KAMUIMINTARA

DMO

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役である大雪カムイミンタラDMO。そのシンボルマークをはじめ、様々なプロモーションツールを担当。その他プロジェクトごとの運営などもお手伝いしながら、ブランド形成に向けた事業に取り組み、観光関連産業の振興と交流人口の拡大による地域経済の活性化を促進し、豊かな地域社会の実現を目指す。













coa logo PV



coa

サスティナブルな暮らしと、アフターコロナのライフスタイルの変化を見据えて、新たな製品の象徴的存在として、幾何学的な作品を制作するアーティスト伊賀信氏をデザイナーに迎え開発した「coa」。そのネーミングからコンセプト、グラフィックへ至るまで、トータルでブランディングを担当。



cosine *collection*











焼肉れすとらん
雪洞
ぼんぼり

ToMoS

東川ひとやすみサイト
ToMoS

東川ひとやすみサイト「ToMoS」は、キッチン等を備えた長期滞在可能な宿泊施設と焼肉レストランをエリア内に併設した、ちょっと風変わりなお休み処です。
その自然豊かな北海道 東川町のまちなかで人と人、人とコトが出会い人生（くらし）にあかりを灯す場所として記憶にのこる時間をお届けできるよう、ネーミングからロゴマーク、コンセプト、グラフィックまで、ブランディングを担当。











andon
condominium















YOTSUBA hokkaido ice

数年ぶりのカップアイス大幅リニューアルに伴い一新された「北海道アイスクリーム」。北海道のおいしさを、まっすぐ届ける「よつ葉」をイメージさせながら、それぞれのフレーバーイメージを訴求する色柄を用いながら、ブランドの統一感とクラシカルな高級感を訴求。「日常に寄り添う王道のアイス」を目指すパッケージデザインを担当。








sen

SENとは故きを温ねて新しきを知る新たな茶文化創生ブランドです。1年を72の季節に細分化した、平安時代から続く暦「七十二候」からイメージしてブレンドされた茶葉と、サステナブルな社会には欠かせないガラス製のエコボトル。これらを通して、気象や動植物、色の変化などに季節の移ろいを出す先人の知恵と、名称の美的センスを愛でながらお茶を喫するひとときをお届けするブランドです。
その口ゴからパッケージまでのビジュアル全般を担当。






SEN

SAVOR YOUR LIFE
– Tokyo–



Editorial

CondeHouse Stylebook

ブランディングアドバイザー宮内博実氏を中心に、新カタログのデザインも一新。「座る」をテーマに、リビング、ダイニングを中心とした現代のライフスタイルに合わせた空間を18のシーンで提案。

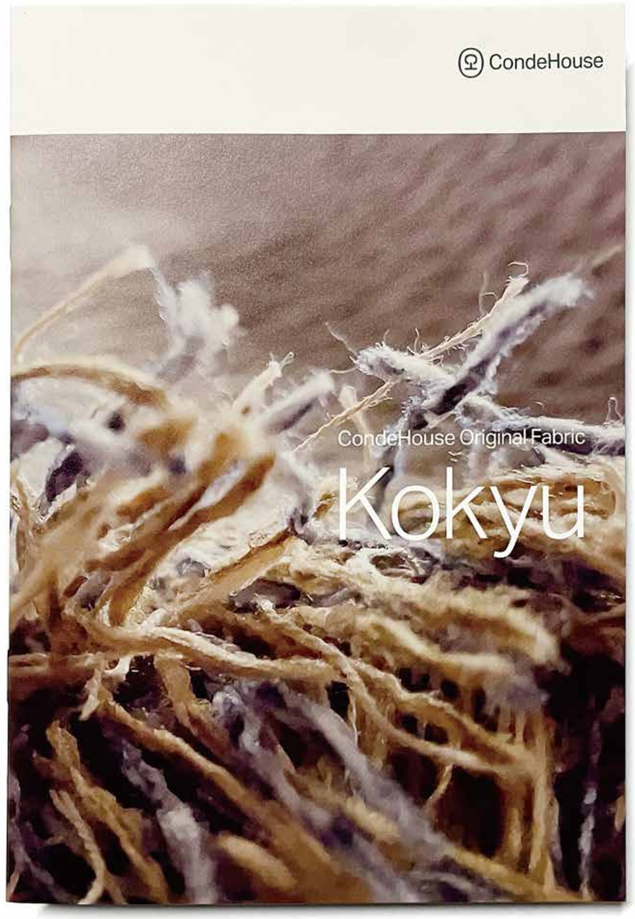




CondeHouse

Kokyu

Product Catalog A5











Keiyukai group humanature

Pamphlet A4



Japan Medical Products

Pamphlet A4



Brown Box

Concept book

70×70mm





Oda Collection

Concept book

A4



Oda Collection Organization Finn Juhl

Catalogue A4









Asahikawa Design Week

Guide Book A5

2015 - 2023



KIDS DESIGN PROJECT book

Catalogue B5



Promotion Video



KIDS DESIGN PROJECT PV

YAHAZUNO EXHIBIYION

旭川デザインウイーク（ADW）ならびに、国際家具デザインコンペティション（IFDA）の前座イベントとして、今まで制作してきたえり抜きのグラフィックを紹介する展示会を開催。その中で、さまざまな視点から、デザインを身近なものとして楽しんでもらえるような300ページにも及ぶワークブックを制作。





Promotion Video

Promotion Video



hokkaido garden show 2015
daisetsu



CondeHouse 50th brand PV



CondeHouse 50th story PV



winter at asahikawa

Promotion Video



takumi kogei suher sale



CondeHouse original fabric
Kokyu PV



sou fujimoto x CondeHouse



japan heritage explanation
kamikawa ainu

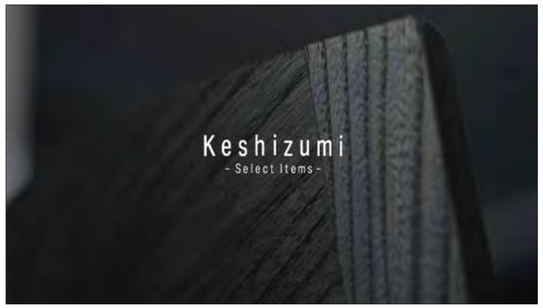
Promotion Video



CondeHouse rebranding logo



CondeHouse HUG chair

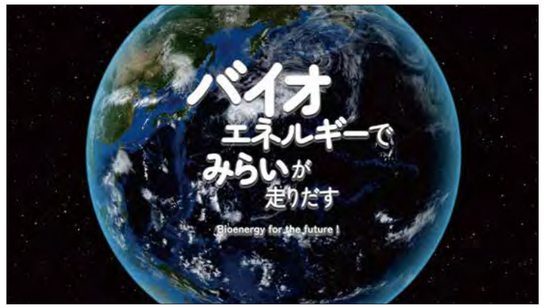


CondeHouse Keshizumi



ART OF MIKU x CondeHouse

EXPO 2025 Startup Promotion Video



Revo Energy



eva therapeutics, inc.

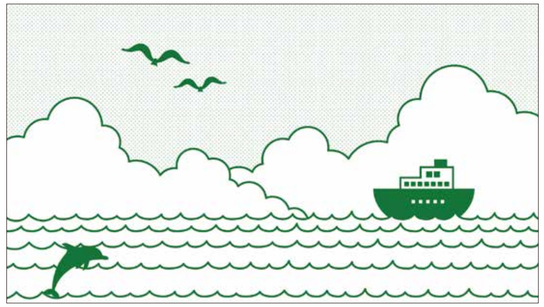


eightis



JBIRC Inc.

Motion Graphic



Novelgen



online tabemarché



Fujisawa Sustainable Smart Town



What Should TOYOTA DO?

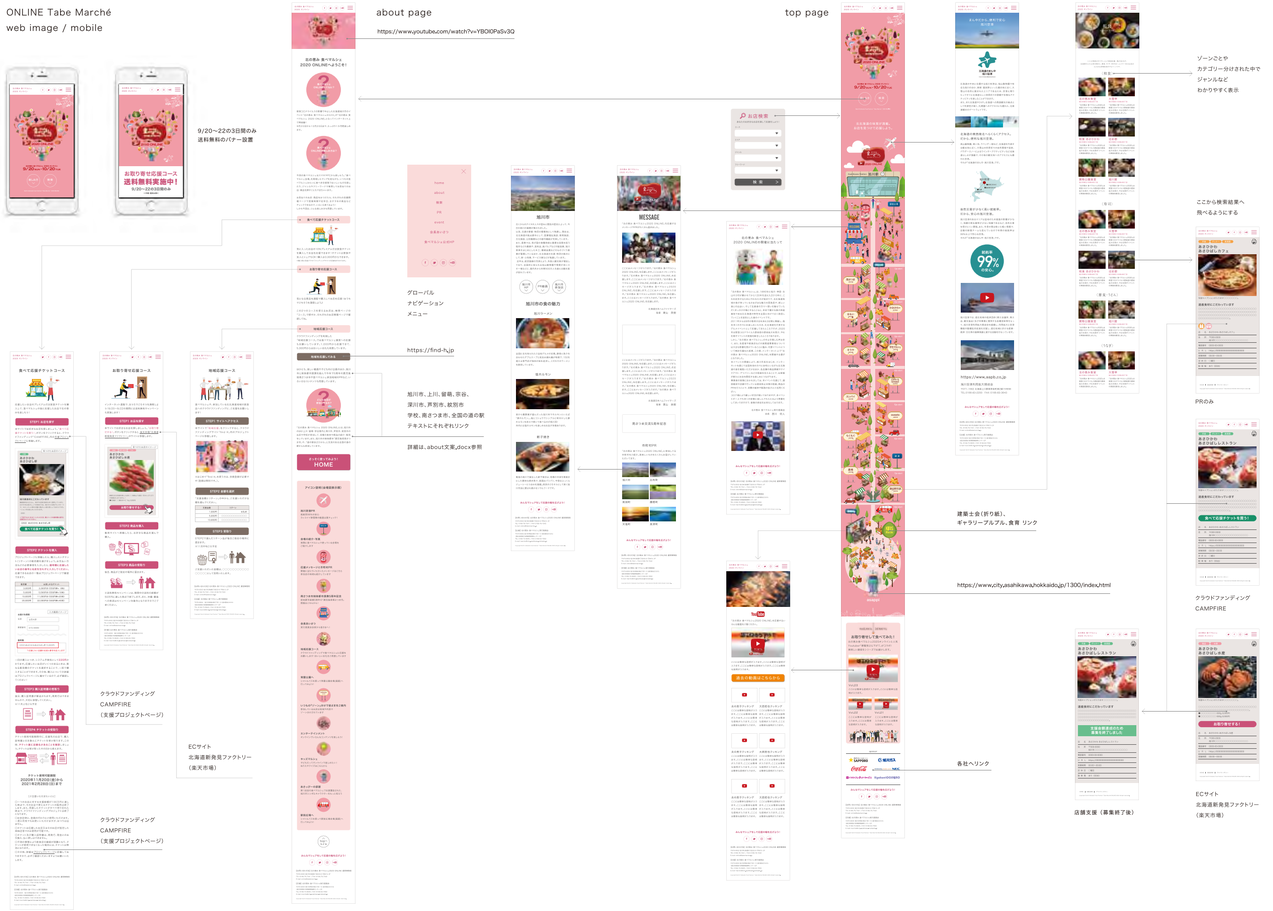
Online Promotion



Online Marché

新型コロナウイルスの影響を受け、中止となった「北の恵み食べマルシェ」。その出店者の飲食店及び地域の食を支援するプロジェクトを企画。クラウドファンディングを通して、ページを作成・支援金募集を呼びかけ、集まった支援金を参加店舗に送金する仕組みで、中止になっても、経済の循環をたやさずに次回の開催に向けて今できることをと考え、企画・制作・運営までを担当。

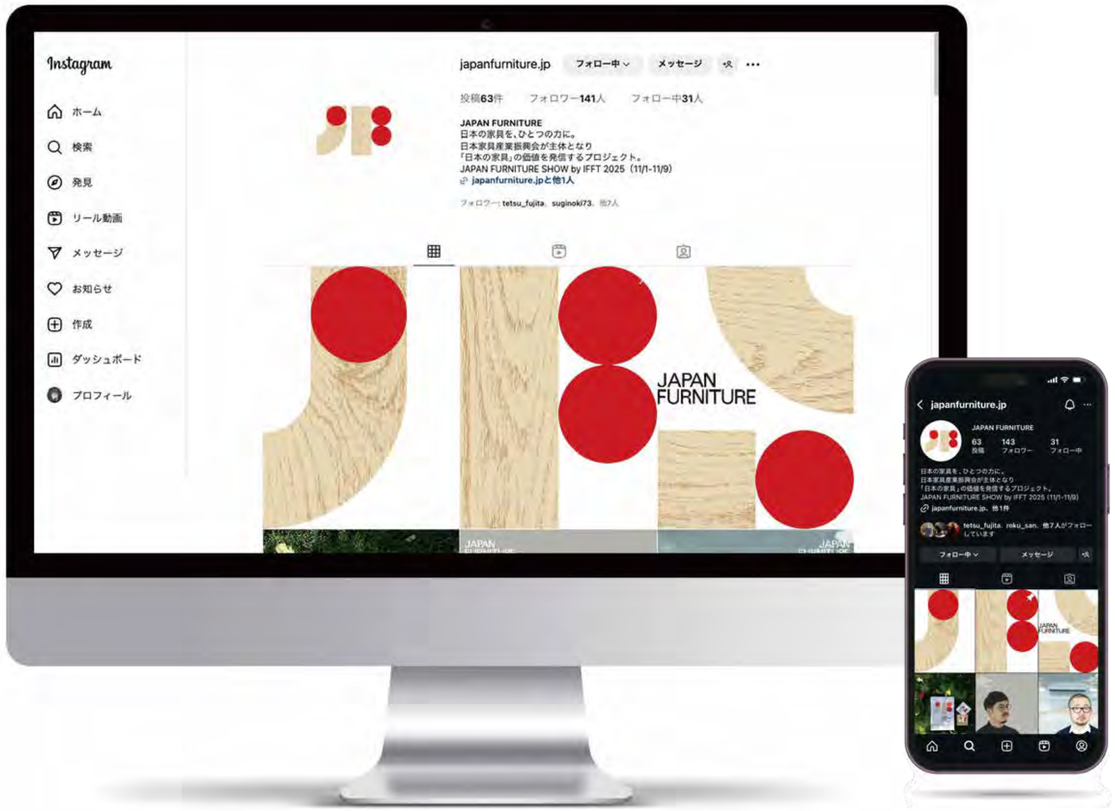




JAPAN FURNITURE

「JAPAN FURNITURE」という言葉を軸に、大きく3つの事業を展開。旭川・飛騨・大川の3つの産地展が集中する6・7月に、日本の家具の“ものづくりの現場”への誘客を強化するため、情報を集約・発信する「JAPAN FURNITURE MONTH 2025」を実施。次に、東京のデザインイベントが集中する10・11月には、「デザイン」を中心に日本の家具を発信するエキシビション「JAPAN FURNITURE SHOW by IFFT 2025」を開催。そのSNSを担当。

JAPAN
FURNITURE
SHOW
by IFFT 2025







Sign, Display

bauhaus exhibition

Asahikawa Design Association











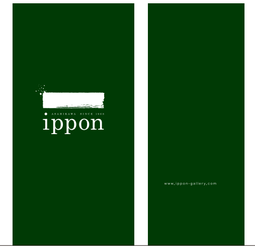
















interior gallery **ippon**



108 MATCHA SARO







108 matcha saro





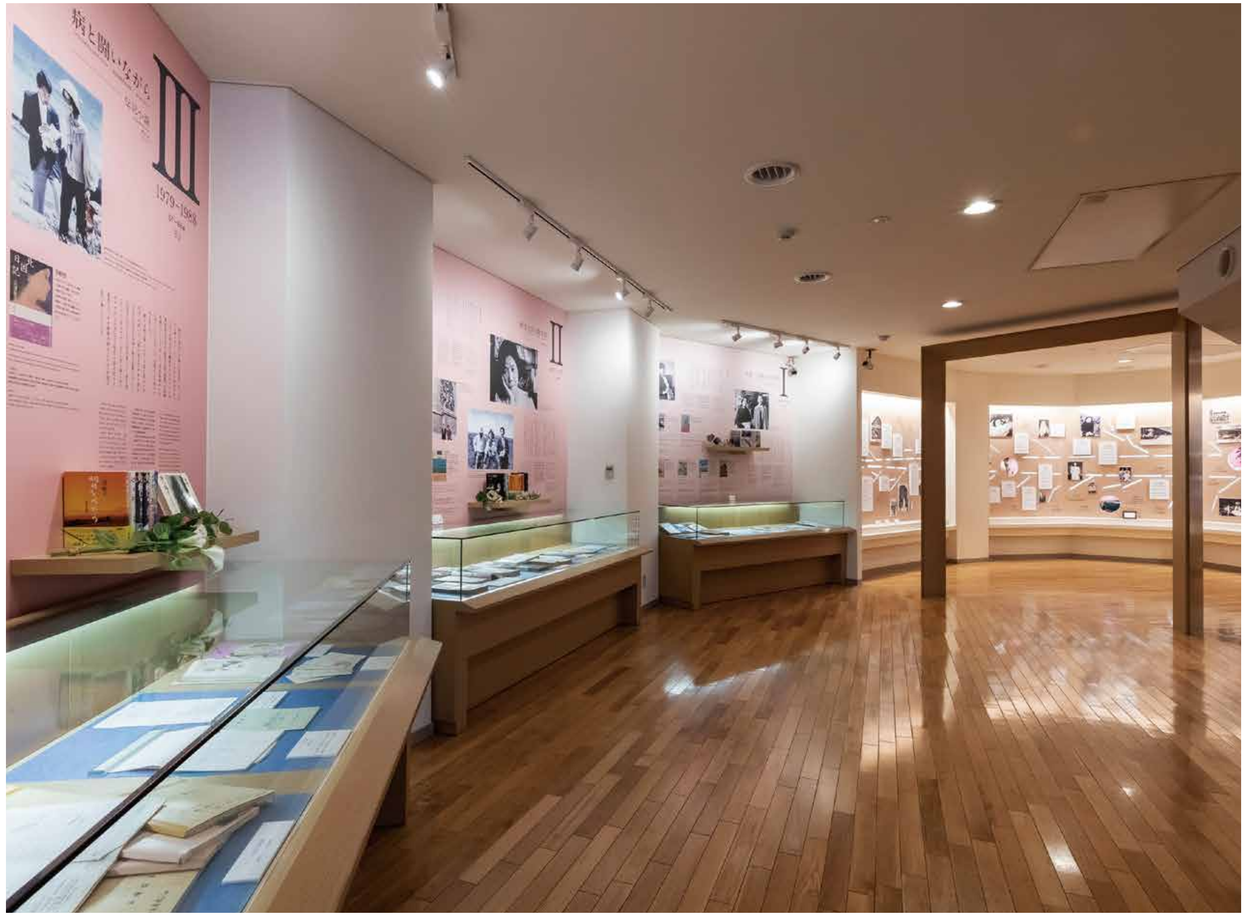
Miura Ayako Literature Museum

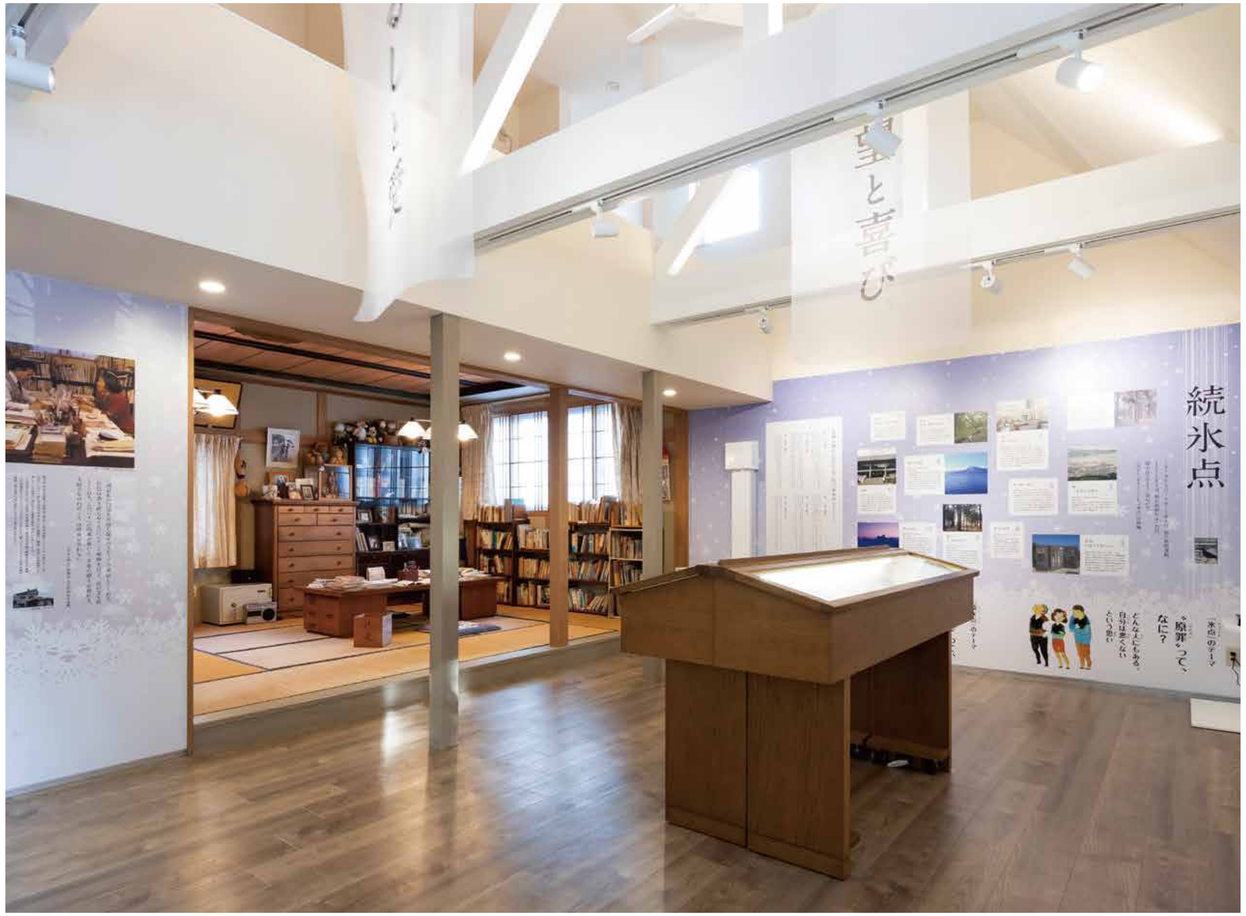
三浦綾子記念文学館

「氷点」の舞台となった外国樹種見本林の入り口に静かにたたずむ三浦綾子記念文学館。2016年「五感展示」をコンセプトに常設展示と「口述 筆記の書斎」が分館に再現され、見るだけではなく、体感することのできる文学館としてリニューアル。その際の展示デザインおよびグラフィック等を担当。作家三浦綾子にゆかりのある文学資料を収集保存するとともに、文化遺産として後世に継承し、その業績と作品はもとより作品が生まれた時代背景などをわかりやすく紹介しています。
2016年11月に「北海道遺産」に認定








続氷点


続氷点




続氷点

IFFT Interior Lifestyle Living

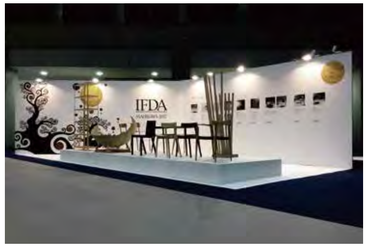
asahikawa booth















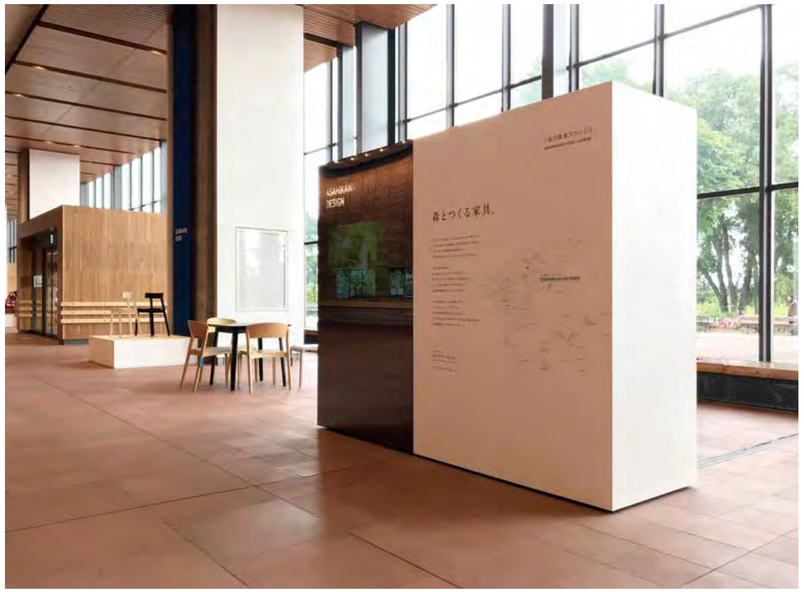


scandinavian
graphic design exhibition

oda collection



station asahikawa
kagu lounge











CondeHouse Style

DESIGN ARCHIVES



Takumi kohgei Booth

ASAHIKAWA DESIGN CENTER









ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2021

party

Ishikawa Prefectural Library

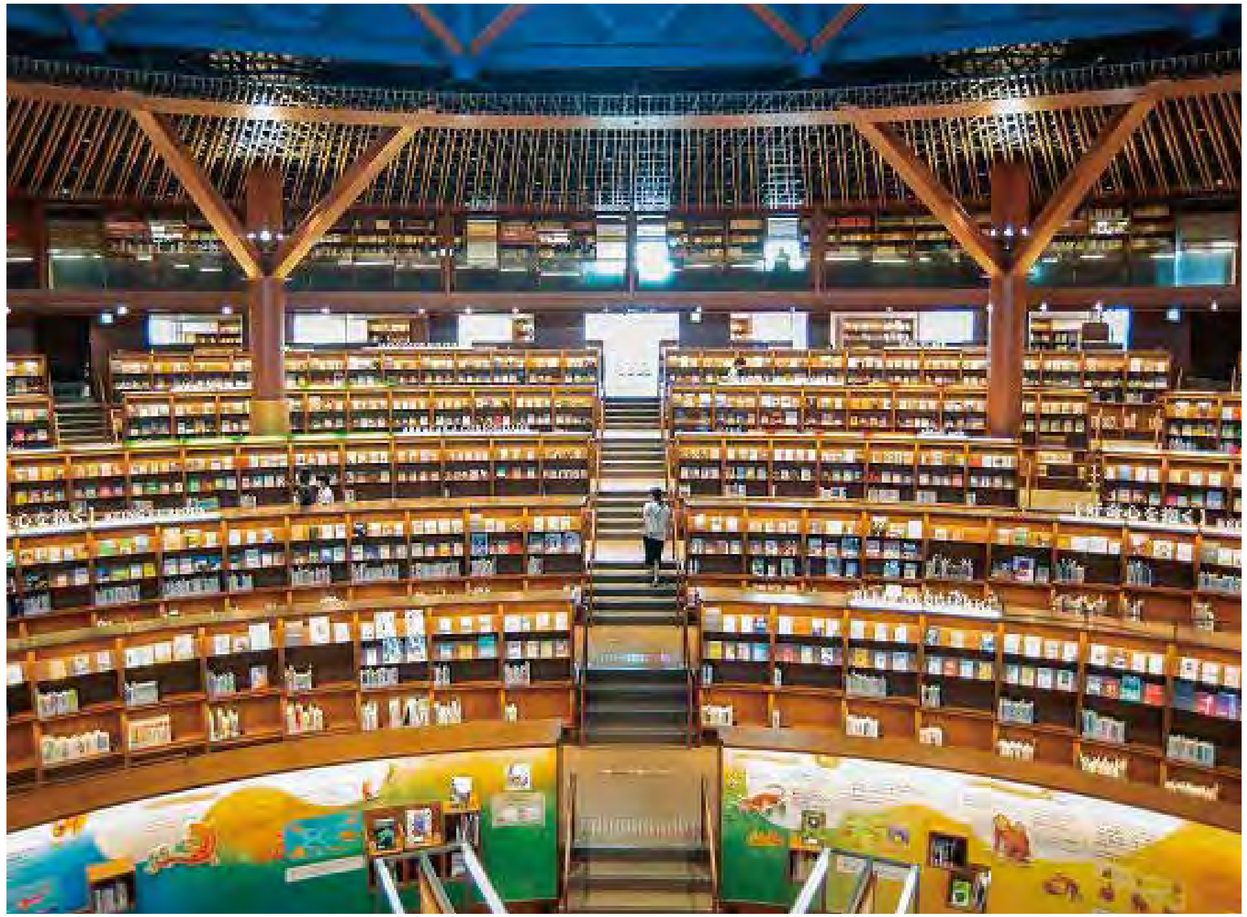
Special Exhibition















旭川大雪
マルシェ
Asahikawa Taisetsu Marche
Hokkaido Japan





Asahikawa Taisetsu Marche

Asahikawa City Recycling Center

2025年10月にオープンした旭川リサイクルセンターのシンボルレリーフと施設内サインデザインを担当。未来の旭川を担う子どもたちが施設見学によりごみ処理の仕組みやリサイクルの流れ、その他環境に係る諸課題について実際に見て感じることで、自分自身に関わる身近な問題として「今と未来をつなぐ視点」を持ち、ごみ問題に対して意識をしてもらう展示を目指しました。

logotaype

旭川市リサイクルセンター

Asahikawa City Recycling Center





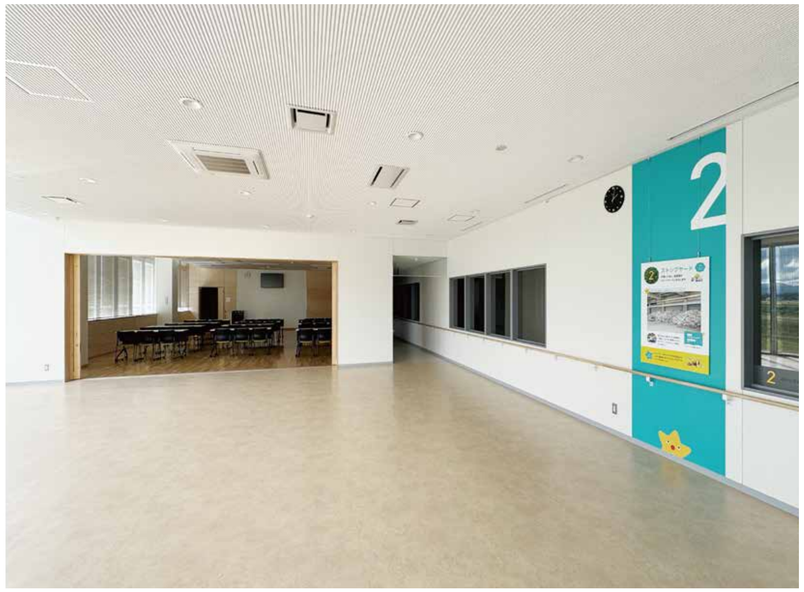
concept

「今」と「未来」をつなぐ「自然の架け橋」をイメージし、旭川の自然を象徴する「大雪山」をベースに、「川」、夜空に浮かぶ「星」を廃棄された缶やガラスカレットで、きれいな四季を表現してます。
未来の旭川がいつまでも美しく、きれいな自然環境に恵まれた地域であってほしいとの思いを込めたシンボルレリーフです。

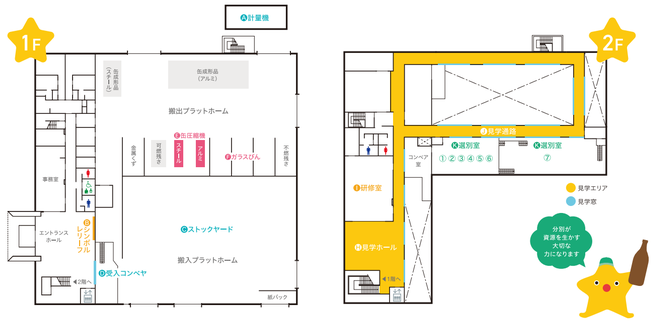




















Observation Walkway

Asahikawa City Recycling Center


DESIGN PEAKS